

クラブ通信

NO. 75
平成25年6月6日
サン・パークス事務局

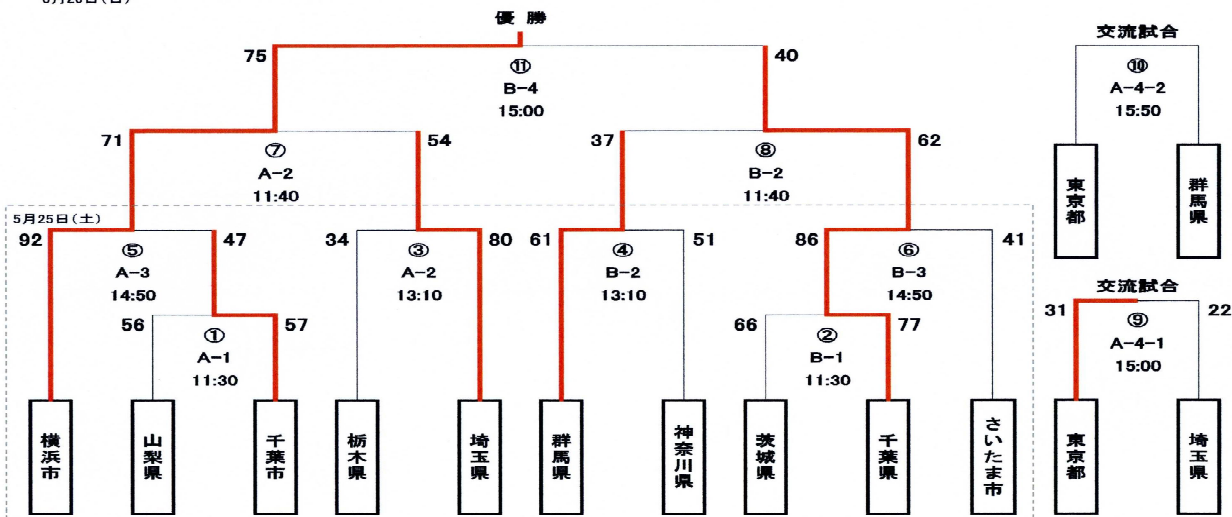
関東ブロック地区予選会結果 惜しくも2回戦で敗退

第13回全国障害者スポーツ大会リハーサル大会

【バスケットボール 男子】

5月26日(日)

会場：東京体育館



今後の練習予定

裏ページに2試合の戦評を載せています

月	日	曜		開始時間	場所
6	16	日	クラブ サン・パーク	9:00~17:00	スポレク
	27	木	クラブ	18:00~21:00	サブアリーナ
7	4	木	クラブ	18:00~21:00	サブアリーナ
	11	木	クラブ	18:00~21:00	サブアリーナ
	14	日	クラブ サン・パーク	9:00~12:00	スポレク
	21	日	クラブ	9:00~12:00	スポレク
8	14	水	クラブ	17:00~21:00	サブアリーナ
	25	日	クラブ サン・パーク	9:00~17:00	スポレク
	30	金	クラブ	17:00~21:00	サブアリーナ

★今年度はFIDジャパンチャンピオンシップの開催が愛知県のため出場はしません。

つづく→

関東大会戦評

戦 評 VS 山梨県	
<p>1回戦、山梨県対千葉市。立ち上がりは山梨県マンツーマン、千葉市ゾーン。 山梨県は速いパス回しから#5の3Pで得点を上げる、千葉市は#5と#7の合わせやドライブで山梨県のファールを誘い得点を重ねる。1Q12-15で千葉市リード。 2Q開始早々、山梨県#4中心に積極的に攻め、千葉市のファールを誘い得点を重ねる。対する千葉市も#7を中心にロングパスやドライブインなど多彩なオフェンスを見せるが、堅守に阻まれなかなか得点を上げることができない。さらに山梨県は、千葉市のファールがかさんだところをついて、4点リードで前半終了。 後半に入り、千葉市はディフェンスをマンツーマンに切り替え、激しくプレッシャーをかける。これが功を奏し、千葉市#5の3P、#7のドライブで得点を重ね開始5分で逆転。山梨県は#8のポストプレイを中心に對抗し、一進一退の攻防を繰り返す。同点で3Q終了。最終Qも互いに激しいディフェンスを展開する。開始4分、山梨県#4が4つ目のファウルでベンチに下がると、千葉市が一気に引き離しにかかる。開始7分千葉市8点リードとなったところで山梨県がたまたまタイムアウト、#4をコートに戻し、ディフェンスをオールコートプレスからのゾーンに切り替え、1点差まで追い上げ残り8秒山梨県のスローインとなったが、千葉市が守りきり、2回戦に駒を進めた。</p>	
記 載 者	島山繁善 (所属) 東京都中学体育連盟

戦 評 VS 横浜市	
<p>2回戦、横浜市対千葉市。立ち上がりは横浜市ゾーン、千葉市マンツーマン。 横浜市は#6と#14の高さを生かしたハイロープレイ、#7のジャンプシュートを中心に得点。千葉市は速いパス回しからの外角のシュートで得点。21-11の横浜市リードで1Q終了。 2Qに入っても横浜市は#5と#6のハイロープレイを中心に得点を重ねる。千葉市は#5を中心に速い展開でのシュートと#4の3Pで6点差まで追い上げる。横浜市#6の高さを生かし、攻守にわたりゴール下を支配し、横浜市12点リードで前半終了。 後半に入っても横浜市の勢いは止まらず、#7のアウトサイド、#6#7#14のインサイドと多彩な攻撃を展開し点差を広げる。千葉市はディフェンスのプレッシャーを強くし、#7のジャンプシュートや#4の3Pで追い上げを図るが、92-47で横浜市が勝利し準決勝戦へ駒を進めた。 #5を中心に最後まで諦めずに走り続けた千葉市の健闘を称えたい。</p>	
記 載 者	島山繁善 (所属) 東京都中学体育連盟